2022年 7月 1日 No.233　　発行責任者 田中 孝史

かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶん・かべしんぶんかべしんぶんかべしん

第233号

郵政産業ユニオン PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部

104-0031 東京都中央区京橋3−6−3
京橋通郵便局5F

TEL・FAX 03-3535-5447

piwutokyo@yahoo.co.jp

今の異常な物価上昇

どうやって生活するのだ

今こそ最低賃金全国一律１５００円にせよ

6月28日、最低賃金引き上げの目安を決める中央最低賃金審議会の審議が始まりました。

現在の最低賃金は、最高値の東京で1041円、最低値の高知・沖縄で820円、全国加重平均で930円となっており、後藤厚労相は「出来る限り早期の全国加重平均1000円以上となることを目指す」と発言しています。しかし、日本の最低賃金は世界から見ても非常に低く抑えられています。

物価高に合わせた最低賃金を

最低賃金は例年3%程の引き上げが続けられてきましたが、6月24日に総務省が発表した消費者物価指数で、生活に欠かせない基礎的支出項目は4.7%上昇しています。そのため、例年と同程度の引き上げでは物価高に追いつかず、生活を支える最低賃金の役目を果たす事が出来ません。

非正規社員の方からは、「なるべく安い物を購入し食費を抑えている。値上げの影響で食費も2割増加した。毎日購入するから生活が大変だ」

「最低賃金はほとんど上がらないのに物価だけが上がっている。これでどうやって生活できるのか。頭にくる。今度は物価高も考慮に入れて大幅に引上げしてもらわないと困る」等の声が寄せられています。

6月28日　猛暑の中、厚労省前で宣伝行動

抜本的引き上げで生活を守れ

6月28日、NHKは日本の賃金は韓国よりも低いことを報じていました。他の先進国はコロナ禍と世界的物価上昇から最低賃金を1500円から1600円（アメリカは1950円）にするとしています。今こそ先進国並みに全国一律1500円にするべきです。世界第三位の経済力を持つ国で、これが出来ない筈はありません。

6月15日　猛暑の中、池袋駅東で宣伝